

ほんものの本と出会うために

ほんものの本の中には、たくさんのもが詰まっています。

ほんものの本は、知識や理解を与えてくれるだけでなく、夢や、冒険や、驚きや、発見や、謎解きの楽しさや、感動や・ ・
とてもここには並べきれないほどの、数々の贈り物を私たちに
与えてくれます。ほんものの本は、たとえ手のひらに乗るほど
小さくても、一つの世界を、一つの宇宙を持っています。

数え切れないほどの本の中で、ほんものの本に出会えないま
ま、読書のよこびから遠ざかってしまう人が少なくないのは、
とても残念です。そこで、一人でも多くの人に、幸福な出会い
をしてもらうために、みんなで知恵を出し合って、31冊の本
をお薦めすることになりました。

ここにあるのは、31の世界です。そして、本の表紙はその
世界に通じる扉なのです。扉を開ければ、あなたはそのまま
別世界に旅立terのです。そう、まるで「どこでもドア」の
ように。

それでは、あなたの手で開かれるのを待っている扉たちをご
紹介しましょう。

2003年3月 県短生協教職員委員会

目次

板垣俊一（国際教養学科）.....	3
佐藤恵美子（食物栄養専攻）.....	4
福嶋秩子（英文学科）.....	5
石川伊織（国際教養学科）.....	6
黒田俊郎（国際教養学科）.....	10
小谷一明（英文学科）.....	11
宮西邦夫（食物栄養専攻）.....	12
木佐木哲朗（国際教養学科）.....	13
月出皎司（国際教養学科・図書館長）.....	14
石垣健二（幼児教育学科）.....	15
柳町裕子（国際教養学科）.....	16
水上則子（国際教養学科）.....	19
第6集 アンケート結果.....	20
アンケートのお願い.....	23

肉食の思想 ヨーロッパ精神の 再発見

鯖田豊之
中公文庫

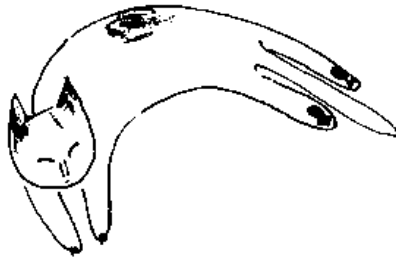
初版が出たのは随分前ですが、内容はまだ新しさを持っていると思います。人間の文化の基底となっている一つの大きな要素に食べ物の獲得方法があります。日本人の主食は今でもご飯と言っていいでしょう。これに対して西洋では、肉とパンを食べます。今日、自由や平等・プライバシーといった考えが世界の常識となってきていますが、それは突然降って湧いた人類の理想ではなく、肉食パン食を中心とする西洋の社会から生まれるべくして生まれた考えであるということを歴史的に明らかにした本です。日常の食べ物から歴史や現代社会を考えてみませんか。イラクや北朝鮮を世界の異分子として徹底的に排除しようとするかの大国の行動に日本人がなかなか付いて行けないのも伝統的に「肉食の思想」を持っていないからなのかも知れません。



マイナスイオン生活のすすめ

菅原晶子
PHP 研究所

マイナスイオンの正体は、「人間や動植物などあらゆる生命が活性酸素の害を受けつつある時代に防衛する還元力」といっても良いです。還元力の高い食べ物は伝統的な日本食の中に多いです。マイナスイオン環境にあると、体質がアルカリ性となり、酸化しないため血液がサラサラになりやすい。心も穏やかである。そのためにも栄養のバランスのとれた野菜、海草、魚、肉、みそ汁、豆などを摂取することが大切です。これからは「きれいな空気が心と体を浄化する時代」といわれております。大きな視点から、地球環境を守ることですが、川や海や噴水のそばはマイナスイオンが発生しやすい。OAや電気製品の多い部屋はプラスイオンが多いので、窓をあけて空気を入れるなど。マイナスイオンは人間生活のすべてとかがわってきます。健康を守るマイナスイオンについて興味のある方には是非おすすめいたします。



英文 福嶋秩子

英語を学ぶなら、こんなふうに 考え方と対話の技法

加藤恭子
NHKブックス

著者はアメリカに留学してフランス文学を勉強し、生涯フランス語を教え、英語の学習方法について発信しつづけた人である。しかし、この本は万人に英語学習を勧める本ではない。英語が必要だと思う人に、他者との交流のために必要な手段として英語学習をとらえなおしてみよう、「ことば」だけでなく、相手の論理や概念、感情という文化的背景を理解しようと問いかけ、著者自身の体験にもとづく学習法を紹介している。

手話ということば もう一つの日 本の言語

米川明彦
PHP新書

手話を学ぶ人が多くなっているが、手話はジェスチャーにすぎないと考える人も多い。若者ことばの研究者として知られる著者は聾者の妻をもち、手話の言語学的研究で博士号を取った人である。手話は自然言語であり、手話を第一言語とする人がいることと、聾(ろう)者の第一言語として手話を公用語にすることを訴えるために、この本が書かれた。世界ではスウェーデン、フィンランド、ベネズエラなどがすでに手話を公用語として認めているようである。

文壇アイドル論

斎藤美奈子
岩波書店

昨年紹介した『紅一点論』（ちくま文庫）の著者が今年発表した評論です。著者は、小説家の世界でも、ポップスの世界でも、せっせとアイドルが生み出されているんだ、と主張します。小説家というと頭が良くて偉くって……というイメージを持つ人もまだまだ多いでしょう。けれども、何のことはない、「文壇」という変な組織が、作品や本人に対して賞賛と罵倒を繰り返して作り出すアイドル、それが売れっ子小説家だ、ということ。こういう実もふたもない本が、岩波書店というお堅いところから出てるのも驚きです。

妊娠小説

斎藤美奈子
ちくま文庫

斎藤さんの作品では、かなり以前に出版されたものですが、『妊娠小説』（ちくま文庫）もお薦めです。交際のあった女性が妊娠してしまって、主人公がそれにどう対応したかで、明治から現代までの日本の小説を分類してしまった（！）という名著です。

ソウル ファイター

木村彩日香
光人社

「ソウルでマンガ家デビューしませんか?!」という誘いにのせられて、韓国語もわからないのに単身ソウルに飛んだ木村さんの、ハチャメチャ滞在記。マンガ家さんの書く(描く?)滞在記だけあって、半分以上マンガとイラスト。初めての驚きを実にわかりやすく伝えてくれます。滞在記というのは、個人的で個別的なものになりやすいもので、それを読んでも国や地域の全体像は見えてこないのが普通ですが、この作品の場合、本人のノリの良さがソウルの元気な雰囲気と良く合致していたのか、なかなか良く書けています。ちゃんとした勉強の合間に流し読みするにはいいでしょう。

須賀敦子のミラノ 須賀敦子のヴェネツィア 須賀敦子のローマ

大竹昭子
河出書房新社

須賀さんの跡を追ってイタリアを回った大竹昭子さんの写真集です。須賀さんが描く美しいイタリアの街が、なぜ美しいのか、その秘密がわかるような写真が満載されています。大聖堂の尖塔、黄色い路面電車、運河と艇、路地と看板……こうした写真を見ていると、何百年もかけて人々がどんなに大切に、街を育ててきたかがわかります。先日も東京の国立市で、市の条例と順民の意思を無視して高層マンションを建てた業者に、違反部分の取り壊しを命じる東京地裁の判決が出ました。飯が食べればいい、自分だけ儲かればいいという思想が断罪されたのです。どうしたら新潟の街が美しくなるでしょうか。美しい街はただ美しいだけではなくて、暮らしやすい良い街であるはずなのですが……

ミラノ 霧の風景

須賀敦子
白水uブックス

須賀さんが12年間を過ごしたイタリア、それもミラノの街を回想するエッセー。カッミッラ・チュデルナの書物に導かれながらご自分の体験をつづっていらっしゃる、その繊細な表現は、奥行きのある深い、味わいのある文章です。ちょうど、表題の「霧」のように。ピエモンテの山中で墜落死した弟を、霧のミラノの街の須賀さんのお宅で、それとは知らないままに待つ友人の古典学者のエピソードから始まるこのエッセー集は、人生の悲喜こもごもを淡々と語ります。

ニッポン近代化遺産の旅

増田彰久・清水慶一
朝日新聞社

国宝・重要文化財というと奈良時代や平安時代のものばかり。新しくても江戸時代のものと相場は決まっています。けれども、明治以降の日本を作ってきた重要な遺産が、今、老朽化して失われようとしています。100年にわたって新潟と東京を結んでいた信越線碓氷峠の急勾配を登る鉄道が、新幹線の開通とともに時代遅れになって捨て去られたように、東京湾岸の火力発電所も使われないまま放置されていました。それが、東京電力による原発の事故隠しの結果、各地の原発が運転停止を余儀なくされて、今何十年かぶりで再整備されようとしています。近代を作ってきた技術や遺物を再検討して、近代社会というのがどういうものであったのかを考え、そこから何を受け継ぎ、これからの社会にどう生かしていくのかを、真剣に模索する時期に来ているように思い増す。この本は、そうした近代化遺産を集めた、美しい写真集です。工場や水道橋や機関庫やダムの、なんと美しいこと。

都市の記憶 美しいまちへ

鈴木博之ほか
白揚社

カバー裏表紙の写真は日銀本館の中庭に林立する古典様式の柱列と石積みのアーチです。収録されているのは、日銀本店や旧日本郵船小樽支店や明治生命互助会社本館（あの旧GHQ本部です）といった有名どころばかりではありません。旧札幌控訴院、旧秋田銀行本店本館、豊橋市公会堂といった、昭和の始めまでに立てられた多くのオフィスビルが紹介されています。写真こそないものの、新潟の第四銀行住吉町支店も旧やまと生命新潟支店も資料集にリストアップされています。第四銀行住吉町支店は保存されませんでした。旧やまと生命新潟支店（現あざみ生命新潟支店）は東中通に今もあります。二階まで吹き抜けになったあの典型的な金融機関風の建物が、木造モルタルだということを知ったときには、大変驚いたものです。言ってしまうと見てくれだけ西洋建築です。しかし、にもかかわらず、美しい。新潟の身近な近代化遺産にもっと目をむけてください。



都心ノ病院ニテ幻覚ヲ見タルコト

澁澤龍彦
学研M文庫

澁澤龍彦の最後のエッセイ集を推薦したのは、龍子夫人の「あとがき」が素晴らしかったからです。透明で品があり、二人が暮らした北鎌倉の風景のなかにまるで魂がすいこまれていくかのような追想の文章です。私も死んだらこんな文章を書いてもらいたいと、ほんとうらやましくなりました。むろん本文も悪くありません。しかし龍子夫人のこの文章に真に呼応するのは、やはり龍彦の遺作『高岡親王航海記』でしょう。というわけで『航海記』（文春文庫）との併読をおすすめします。

恋の映画誌

山田宏一
新書館

山田宏一は、映画を映画的に、映画の言葉で語れる数少ない映画人のひとりです。かれの数ある名作のなかから『恋の映画誌』を選んだのは、やはりこの本が今は亡き祐子夫人に捧げられているからです。祐子夫人に捧げられた本としては、『新編美女と犯罪』（ワイズ出版）もあるのですが、こちらはちょっと本格的なので、気軽に名画を楽しむには『恋～』のほうがうってつけです。映画を観たくなること請けあいです。

祭りの場：ギヤマン ビードロ

林京子
講談社

林京子は長崎市大橋町で被爆したあと、作家になりました。『ギヤマン ビードロ』(1978)に「金比羅山」とい短編が所収されています。「中年」となったおばさまがたの井戸端会議ですが、楽しそうな会話の底流に、彼女たちの静かな人生への冷視を感じます。私はこの作品で、2002年一番の大笑いをしました。笑った後、すうっと血の気が引いていったのを覚えています。

魂込め（まぶいぐみ）

目取真俊
朝日新聞社出版局

目取真俊（めどるましゅん）は沖縄県の中部、今帰仁（なきじん）出身の作家です。『魂込め（まぶいぐみ）』(1999)のなかに、自分の生涯をある女性が物語る「面影と連れて（うむかじとちりてい）」があります。半生の自伝は可能ですが、生涯の自伝はありえません。それでも目取真さんはこの形式を採用します。結果、作品に歪みが生じていき、至極美しいファンタジーが立ちあられ、私の魂（まぶい）が落ちました。

味覚障害とダイエット 「知られざる国民病」の処方箋

富田寛
講談社+ 文庫

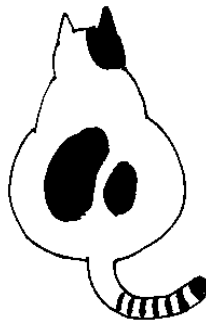
全世代に亘って発症している味覚障害の実態と原因について解り易く解説してあります。特に主要原因である必須ミネラルの亜鉛不足をどう補うか、また予防法についても詳しい。コンビニ・ファーストフードに走る若者、必読の書であると思い、推薦させていただきます。



海の帝国

白石隆
中公新書

「アジア」を文化や民族あるいは国家などによって固定された何らかの構造として扱うのではなく、歴史的な地域間の連関の過程として現れる地域システムと捉える。そして、アジアの近代を150年～200年という時間の幅で、地域秩序の構想と形成という観点から考察したものである。交易のネットワークで結ばれた「海のアジア」という視点は興味深いし、日本がこの地域システムとどうかかわるべきかを考えさせられる。



国際教養・図書館長 月出皎司

ロシアについて 北方の原形

司馬遼太郎

文春文庫

ロシアの社会的、歴史的な特質を考察しながら、江戸時代いらいの日本とロシアの接触、交渉の道のりをたどる。

著者独特の史料の読み込みと深い視点で、ロシアを専門としない読者にも強い感銘を与える好著です。



リング

鈴木光司
角川ホラー文庫

ずいぶん前から手元にあるものの、実はボク自身まだ読んでません。でも、薦めちゃいます・・・先日ハリウッド版「リング」観てきちゃいました。こっち（日本）のにヒケをとらない鳥肌モノ。数日間暗闇を避けて生活したくらいです。漫画版「リング」も読みました。これははっきり言って大したことなし。残るは「やっぱり原作で」と思っ
てはいるものの・・・誰か読んで感想を聞かせてください。それを聞いてボクも考えヨなんて。

子どもたちはなぜキレるのか

斎藤孝
ちくま新書

同著者のベストセラー『声に出して読みたい日本語』などは他の教員が推薦するにちがいない、と予想して、ボクはコチラを薦めてみたいと思います。「国語は体育だ」「読書はスポーツだ」と豪語する著者ですが、体育の研究者たるボクとしては、やはりその挑戦状を無視するわけにはいかないでしょう。著者は、人間の「身体感覚」「言葉」「倫理」を巧みにリンクさせます。倫理が身体を礎とするなんて短絡的な因果論の嫌いはあるものの一理あるといえるでしょう。共感せずにはおれません。あれっ、もしかして反論してない？・・・逆に「体育は国語だ」「スポーツは読書だ」なんて言ってみたら、ボクも売れる本書けるかなあ？

同性愛・多様なセクシュアリティ / 人権と共生を学ぶ授業

“人間と性”教育研究所【編】
子どもの未来社

誰にも言えずに孤立し、悩んでいるセクシュアルマイノリティの小
学生、中学生、高校生たち、そして短大生たちのために何ができるの
か... 今までの教育においては無視されてきたセクシュアルマイノ
リティの子どもたちの存在を視野に入れた保健、家庭科、英語、国語、
社会、生物などの授業における教育実践例や、サポートグループの活
動を紹介する画期的な本です。

300円で読める海外の名作7選

変身

カフカ 中井正文【訳】
角川文庫（改版）

300円で巨大な虫に変身...

トニオ・クレエゲル

ト・マス・マン 実吉捷郎【訳】
岩波文庫（改版）

最も多く愛する者は、常に敗者であり、常に悩まなければならない。

白夜

ドストエフスキー 小沼文彦【訳】
角川文庫

私の夜は、昼間よりもすばらしい...

ペテルブルグを新潟に、ネヴァ川を信濃川におきかえて読んでみよう。

万代橋のたもとで、あなたもめくるめくロマンスに巡り会えるかもしれない...

外套

ゴーゴリ 平井肇【訳】
岩波文庫（改版）

おそらくその嗅ぎタバコが死人にさえ我慢のならぬ代物だったのであるう・・・突然、幽霊がくしゃみをした...

サロメ

オスカー・ワイルド 福田恒存【訳】
岩波文庫

銀の大皿にのせて...私はヨカナーンの首がほしうございます...
(ピアズレーの挿し絵もついてるよ)

ジ - キル博士とハイド氏

ステイ - ヴンソン 大谷利彦【訳】
角川文庫

わたしを苦しめるものはもはや絞首台の恐怖ではなく、ハイドに変わることの恐怖であった...

絵のない絵本

アンデルセン 山野辺五十鈴【訳】
集英社文庫

「昨日のことですよ」と、月が私に話しました...

月が、その晩かその前の晩に見たことを一夜ずつ語ってくれるお話を本にしたものです。幼い頃、母がこの本の月のお話を毎晩ひとつずつ読んでくれたので、今でも空から語りかける月の声は、私には母の声に聞こえてしまいます。えっ(・・)?月はしゃべらない?

思考のレッスン

丸谷才一
文春文庫

本の読み方や、ものの考え方、そして書き方といった技術を身につけるのは、意外に難しいものです。自分に合ったやり方を見つけることができるのは自分だけですから、この本を一冊読めばバッチリ！とは言えませんが、きっと貴重なヒントが得られると思います。この本を読んで「面白い」と思った人は、丸谷さんのエッセイも読んでみてください。たくさんありますが、どこから読んでも面白いですよ。



第6集アンケート結果

「どこでもドアのかぎ6」で実施したアンケートの結果を掲載させていただきます。貴重なご意見をお寄せくださったみなさん、どうもありがとうございました。今後の参考にさせていただきます。

「どこでもドアのかぎ6」全体についてのご感想・ご意見

自分が普段読んでいる本のジャンルが固定してきたので、ほかの本でおもしろそうなものないか考えてた所だったんです。こういう紹介本はたすかります。

今年、入学したので、初めて読みました。初め、これは何だろう？と思いつつ、読んでいくと、どうやら、本の紹介らしいということがわかりました。できれば、もう少し本の内容や、あらすじにふれてほしいと思います。

いろいろな本の紹介があって参考になった。おもしろかった。

高校では毎日、“朝の十分間読書”があり、その時間から読書が好きになりました。本選びでは、題名に目がいって、少し難しい題目とかだと手にとらなかつたけれど、先生方の本の中には紹介されなければ絶対よまない本もありよかつた

初めて「どこでもドアのかぎ」を読ませて頂きました。新入生なので・・・先生達のコメントを読んで、読んでみたくなる本が沢山でてきて、今、どれを読もうか迷っています（笑）

おもしろそうな本が沢山あった。

「どこでもドアのかぎ6」の主旨がよくわからなかつた。これは、生協で売っている本の紹介なのか、単に学生に対して本を読むようにと訴えているのか、それとも・・・??

いろんな先生方のオススメの本を知れてよい 普段本を読みたいと思ってもどんな本から手をつけていいか悩むこともあるのでよい参考になりました！！

色んな分野の本があつておもしろかつたです。先生方の紹介する本ということでちょっと題名が難しくて内容も？と思つてしまいました。でも説明が興味をひかれることをたくさん書いてあつて読みたいになりました。

先生方の説明がよかつたと思います。本の写真、図書館にあるかどうか等あればよかつたです。

いろんな学科の先生が出てきて面白かつた。知ってる先生とかでも本の話なんてあんまりしないから、発見と驚き(?)みたいな感じで。「読書したいけど、何読もう?」みたいな時にはもつてこいで、さすが「どこでもドア」と思いました。見やすかつたし。

この冊子を見て読みたくなかった本があったら教えてください。

ファストフードが世界を食いつくす
題名からもう読んでみたくなかった

食の文化史

こういうソボクな疑問から食文化の歴史に発展して学べるなんてすごい。

国際感覚ってなんだろう

“国際的”っていう言葉自体よくわからなくて、英語しゃべれば国際的と言うのかな？なんて感じなのでこの本よく読んでみます。

ゲイルズバーグの春を愛す

私好みの本かも！？

女たちのジハード

将来について不安に思っていることなどたくさんあるため。

世界がもし100人の村だったら

前から読みたいと思っていた本だったし、テレビなどでも紹介されているのを見たことがあったから。

魔女狩り

恐ろしい魔女狩りを生んだ社会をのぞいてみたいです。

ゲイルズバーグの春を愛す

興味深そうな内容のようなので・・・

紅一点論

この本の中に宮崎駿の評価がとても低く描かれているらしいので、どのような理由があって低く評価しているのかとても気になったから

「わかる」ということの意味

教育学に興味があるのでなんか読んでみたい！と思いました。

紅一点論

なんだかおもしろいところをついてるし宮崎駿の評価がとても低く書かれているというところが意外すぎでかなり魅かれます

アンダーグラウンド

“読んでみました”にひかれました。先生がすいせんされた本を違う先生が読んでおもしろかったと書いてあったので、興味をひかれました。

指輪物語

今話題になっているし、先生の感想をみて、ぜひ読みたいと思った。

ファストフードが世界を食いつくす

単純に面白そうだったから。興味深い。

二十歳のころ

20歳になるから。“読んでみました”の文を読んで読みたくなかった。

他にどんな分野の本を紹介してほしいと思いますか。希望をお聞かせください。

演劇関係。若い人にわかりやすく、おもしろさを理解してもらえるように「劇場へ行こう！」みたいな雰囲気の本があれば紹介してほしいです。

小説が少なかったように思います。現代じゃなくて、明治～昭和初期のころの小説も紹介して下さい。

料理の本とか。

ノンフィクション。感動する本。

ファンタジーものの本を紹介してほしいです。

何でもよい。

もう少し、フィクション系の小説の紹介をしてほしい。

生き方についての本。自分を好きになろう！みたいな本。

本を紹介してくださる先生の専門分野の本が多く紹介されていますが、その先生の専門分野以外の本でおもしろいと感じた本をもっと紹介してもらいたいです。

このまま、先生おすすめの本でいいと思います。

本で泣いてみたいので、“泣ける本”とか。

その他、生協について、教職員委員会・学生委員会について、ご意見や要望があればお聞かせください。

これからもがんばって下さい。

この前、ハイブリッドのかえペン（黒）が置いてなくて困りました。大学生協の文ぼう具意外と高いです。

いつもお世話になっています。身近な物は全てそろえることができるので、いつも利用させて頂いています。これからも頑張ってください！！

ソフトクリームおいしいよ。

生協の雑誌に「月刊ザ・テレビジョン（長野・新潟版）」を加えてほしい。それとケーキバイキングを定期的で開催してほしい。

アイスの種類と雑誌の種類を増やしてほしいです。アイスはハンディシェイク、雑誌はファッション雑誌（mini など）を入れて頂けるとありがたいです（^-^）

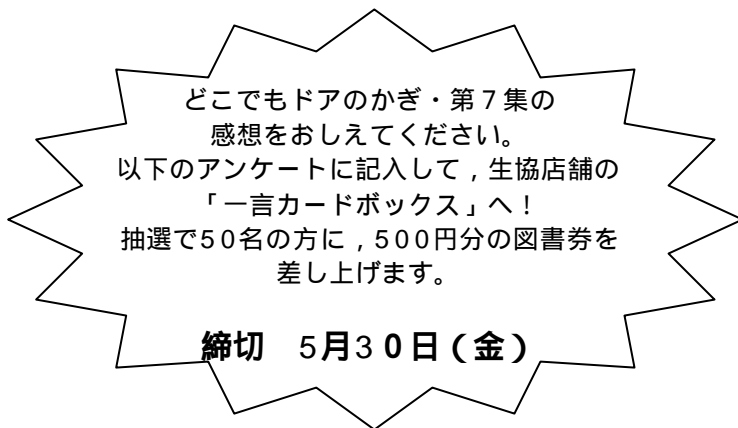
このどこでもドアのかぎ の存在を知っている人が少ないような気がします。もっともっと目立つ所に置いてみては？表紙を派手にするとか。

とくにありません。

この本についてなのですが、紹介される本の値段が知りたいので、出版社とか書いてあるところに書いて欲しいと思いました。

ありがとうございました。頑張ってください。

「どこでもドアのかぎ7」アンケートのお願い



(7)

「どこでもドアのかぎ7」全体についてのご感想・ご意見を書いて
ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

この冊子を見て読みたくなった本があったら教えてください。でき
れば理由もお願いします。

.....
.....
.....
.....
.....

